

この手らと

第13号平成29年2月

まことの保育



うめ組 研究保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男

冬しぐれ、降り入る暗き帰り道
子の待ち顔の浮かびて愛し



ひかりの春

立春(2月4日)から春分の日(3月20日)にかけては、まだまだ厳しい寒さが続きますが、そんな時に窓からさしこむ光や太陽のぬくもりに春の温かさを感じます。そのことを「光の春」というそうです。

また、雪解けのせせらぎや鳥のさえずりなどは、「音の春」というそうです。・・・美しい日本語ですね。

かつて、甑島に勤務していたとき、うぐいすの鳴き声があちらこちらから聞こえてきますと「いよいよ春になりましたね。」とあいさつをかわすものでした。

山形県鶴岡市大宝幼稚園との交流

和光幼稚園からは大きな桜島大根を二個送りました。大宝幼稚園からは、庄内平野の雪が段ボールで送ってきました。子どもたちは、大はしゃぎ。

わたくしがかつて勤務していた鹿児島市立大龍小学校は、昭和38年に山形県鶴岡市立朝暘第二小学校と姉妹校盟約を結んでいます。3年に一度、お互いに訪問したり、毎年、寄せ書き、ビデオレターなどの交換を約50年余り続けています。

当時、朝暘第二小学校の校長先生だった三浦洋介先生も。現在、幼稚園の園長となり再び、幼稚園らしい交流をしましょうかということになりました。



絵本に親しむ活動発表会



1月31日鹿児島市私立幼稚園協会主催、鹿児島市教育委員会後援の発表会に和光幼稚園の父母の会「おはなし文庫クレパス」が参加されました。人形劇「どうぞのいす」を通して、クレパスのお母さん方が、子どもたちに「おもいやりの心」の大切さを感じてほしいという思いが伝わる発表でした。

お店ごっこ

国は、幼稚園の終わりまでに育ててほしい子どもの姿を①「健康な心と体」②「自立心」③「協同性」④「道徳性・規範意識の芽生え」⑤「社会生活とのかかわり」⑥「思考力の芽生え」⑦「自然とのかかわり、生命尊重」⑧「数量・図形、文字等への関心・感覚」⑨「言葉による伝え合い」⑩「豊かな感性と表現」と大目標が10目標、それぞれにさらに小目標が46目標示されています。



今回の「お店ごっこ」では主に、③「協同性」⑧「数量・図形、文字等への関心・感覚」⑨「言葉による伝え合い」⑩「豊かな感性と表現」等を総合的に培う活動となります。

日本一短い家族への手紙

○この間、口内炎ができたのを見てもらった時、顔が近づきどきどきしたわ、ひさしぶりに(夫へ)
○わたしか見えなくなるまで手を振る母、本当に一人くらしは気楽ですか。(母へ)